

楽天モバイルの次世代産業参入戦略：コンテンツ産業と AI 搭載ロボット産業における成長機会の分析



Genspark

Jul 01, 2025

これまでの詳細な調査結果を基に、楽天モバイルがコンテンツ産業と AI 搭載ロボット産業への参入・成長戦略について包括的な分析とシナリオを提供いたします。

1. 市場環境と政府政策の現状

コンテンツ産業の政策的背景

日本政府は「新たなクールジャパン戦略」[1](#)において、**2033 年までにコンテンツ産業の海外売上高を 20 兆円に拡大する**という野心的な目標を設定しています。これは現在の約 5 兆円から 4 倍の成長を意味し、2024 年の国内コンテンツ市場規模 14.9 兆円 [2](#)を上回る海外展開を求められています。

経済産業省のエンタメ・クリエイティブ産業戦略 [3](#)では、海外展開を前提としたプロデューサー育成や、コンテンツ単体ではなく統合的な支援策が重点施策として位置づけられています。

AI 搭載ロボット産業の投資動向

AI 搭載ロボット産業では、経済産業省が AI ロボット協会（AIRoA）に 20 億円の投資 [4](#)を決定し、トヨタや三菱電機など 22 社が参加する産業連携が本格化しています。サービスロボット市場は 2029 年までに約 4,000 億円規模 [5](#)への拡大が予測され、現在の市場規模の約 3 倍の成長が見込まれています。

2. 楽天モバイルの技術的優位性

世界唯一の完全仮想化 5G ネットワーク

楽天モバイルは完全仮想化クラウドネイティブモバイルネットワーク [6](#)を構築し、5G ネット

トワーク基盤にコンテナ技術を導入しています。この技術的基盤は、コンテンツ配信と AI ロボット制御の両分野で決定的な競争優位をもたらします。

Open RAN 技術でのリーダーシップ

楽天モバイルの Open RAN 技術 [7](#) は、様々なベンダーの機器との相互接続を可能にし、コスト効率と技術革新の両立を実現しています。8 割の 5G 基地局で Massive MIMO を採用 [8](#) し、他社との技術的差別化を確立しています。

ネットワークスライシングとエッジコンピューティング

楽天モバイルが開発したネットワークスライスオーケストレーター [9](#) は、AI による自動化率 77.5%を達成し、サービスごとに最適化されたネットワーク品質を提供可能です。これは、コンテンツ配信とロボット制御の両方で要求される低遅延・高品質通信の実現に直結します。

3. 楽天エコシステムの戦略的活用

1 億超会員基盤の活用

楽天エコシステムは 70 を超えるサービス [10](#) が有機的に連携し、楽天ポイント経済圏として 1 億人超の会員基盤を構築しています。この巨大な顧客基盤は、コンテンツ配信とロボットサービスの両分野で強力な競争優位をもたらします。

既存コンテンツ事業との連携

Rakuten Content Central [11](#) や Rakuten TV [12](#) など、既存のコンテンツ事業基盤を活用し、通信インフラと一体化したサービス展開が可能です。U-NEXT との業務提携 [13](#) など、戦略的パートナーシップも拡大中です。

4. 具体的な参入戦略とビジネスモデル

コンテンツ産業への参入戦略

① 5G 対応コンテンツ配信プラットフォーム

楽天モバイルの 5G 技術を活用した 4K/8K 映像配信、VR/AR コンテンツ配信サービスを展開します。ネットワークスライシング技術 [14](#) により、コンテンツ種別に応じた最適化された配信品質を提供し、既存配信サービスとの差別化を図ります。

② クリエイター支援エコシステム

楽天エコシステムの決済・物流・マーケティング機能と 5G 通信を組み合わせ、個人クリエイターから大手制作会社まで支援する統合プラットフォームを構築します。海外展開支援機能も含めた包括的なサービス提供により、政府目標の 20 兆円市場創出に貢献します。

③ IP ライセンシング・マネタイズ支援

楽天グループの金融・決済機能と連携し、コンテンツ IP の収益化を支援するフィンテックサービスを提供します。ブロックチェーン技術も活用し、透明性の高い権利管理システムを構築します。

AI 搭載ロボット産業への参入戦略

① 5G 対応ロボット制御プラットフォーム

エッジコンピューティング技術 [15](#) を活用し、超低遅延でのロボット遠隔制御サービスを提供します。製造業、医療、農業、物流など多様な分野でのロボット活用を支援し、労働力不足解消に貢献します。

② ロボット・アズ・ア・サービス (RaaS)

楽天モバイルの通信インフラを基盤とした月額制ロボットサービスを展開します。初期投資を抑えたロボット導入を可能にし、中小企業でのロボット普及を促進します。

③ AI ロボット協会 (AIRoA) との連携

経済産業省が 20 億円を投資する AIRoA [16](#) に参加し、業界標準の策定と技術開発に貢献しながら、楽天モバイルの通信技術を業界スタンダードに組み込みます。

5. 現状とあるべき姿のギャップ分析

現状の課題

技術面の課題：

- ・ コンテンツ制作・配信に特化した 5G 活用事例が限定的
- ・ AI ロボット制御に最適化されたネットワーク設計が未完成
- ・ エッジコンピューティング展開の地域的制約

ビジネス面の課題：

- ・ コンテンツ産業・ロボット産業での事業実績が限定的
- ・ 専門人材（コンテンツプロデューサー、ロボット技術者）の不足

- ・ 海外展開ノウハウの蓄積不足

あるべき姿

2030 年目標：

- ・ コンテンツ配信事業で年間売上 1,000 億円規模
- ・ AI ロボットサービス事業で年間売上 500 億円規模
- ・ 海外展開による収益の 30%以上を実現
- ・ 楽天エコシステム全体での相乗効果創出

6. 段階的成長シナリオ

フェーズ 1：基盤構築期（2025-2026 年）

投資規模：300 億円

- ・ 5G 対応コンテンツ配信プラットフォーム開発
- ・ AI ロボット制御プラットフォーム構築
- ・ 専門人材採用・育成（コンテンツ 50 名、ロボット 30 名）
- ・ 戦略的パートナーシップ締結（制作会社・ロボットメーカー）

収益目標：年間 50 億円

フェーズ 2：市場展開期（2027-2028 年）

投資規模：500 億円

- ・ 海外展開開始（アジア・北米市場）
- ・ エッジコンピューティング拠点拡大
- ・ M&A による事業規模拡大
- ・ 楽天エコシステム連携サービス本格展開

収益目標：年間 200 億円

フェーズ 3：市場リーダー化期（2029-2030 年）

投資規模：700 億円

- ・ グローバル展開加速
- ・ 6G 技術対応準備
- ・ 業界標準化への積極関与
- ・ 新技術（メタバース、量子通信等）への対応

収益目標：年間 500 億円

7. 成功要因と課題対策

成功要因

1. 技術的優位性：世界唯一の完全仮想化 5G ネットワーク
2. エコシステム活用：楽天グループの総合力
3. 政府政策との整合：コンテンツ 20 兆円・AI ロボット推進政策
4. 市場タイミング：デジタル化・自動化需要の急拡大

課題と対策

① 人材確保の課題

- 対策：大学との連携、海外人材採用、既存グループ内人材の活用

② 競合との差別化

- 対策：技術革新の継続、エコシステム連携の深化、独自価値提案

③ 投資回収期間の長期化リスク

- 対策：段階的投資、パートナーシップ活用、政府補助金の積極活用

8. 結論と提言

楽天モバイルは、完全仮想化 5G ネットワークという世界唯一の技術基盤と、楽天エコシステムの総合力を活用することで、コンテンツ産業と AI 搭載ロボット産業への参入で大きな成功を収める可能性があります。

政府が掲げる 2033 年コンテンツ 20 兆円目標と、急成長する AI ロボット市場において、楽天モバイルは「通信インフラ×コンテンツ×ロボット」の統合サービスプロバイダーとして独自のポジションを確立できます。

成功の鍵は、技術的優位性を活かした差別化サービスの開発と、楽天エコシステム全体でのシナジー創出、そして段階的な投資による着実な事業拡大にあります。今こそ、日本の次世代基幹産業における楽天モバイルの成長戦略を本格化すべき時です。

もっと詳しく

1

www.kantei.go.jp

2

[prtimes.jp](http://prt看mes.jp)

3

www.meti.go.jp

4

www.youtube.com

5

note.com

6

corp.mobile.rakuten.co.jp

7

corp.mobile.rakuten.co.jp

8

k-tai.watch.impress.co.jp

9

k-tai.watch.impress.co.jp

10

region-empowerment.rakuten.co.jp

11

content-central.rakuten.net

12

tv.rakuten.co.jp

13

corp.rakuten.co.jp

14

corp.mobile.rakuten.co.jp

15

businessnetwork.jp

16

www.icr.co.jp